

# 第 62 回包装技術研究大会中部大会

～ 人にやさしい包装改善事例と人工知能を用いた強度予測、  
包装に関わる標準化の動向について ～

日時	2023年2月16日(木) 13:00~16:20
会場	ウインクあいち 1202会議室 + Zoomウェビナー(オンライン) ※会場聴講定員30名。オンラインは事前登録等の案内をメール送付。
参加費	【会員】 無料 / 【一般(会員外)】 6,600円(消費税10%込)

## プログラム

### 【コーディネーター】

株式会社オカベカミコン 代表取締役社長(包装管理士) 岡部 智 氏  
浅野段ボール株式会社 営業部開発課 課長(包装管理士) 鈴木 康二 氏

13:05~13:35

『簡易ラックによる作業効率の改善と安全性向上の実現』

アイロップ株式会社 名古屋営業部 (包装管理士) 野本 祐里子 氏

13:35~14:05

『手が痛くない手掛け穴の開発』

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 設計グループ (包装管理士) 野本 早紀 氏

14:05~14:35

『劇的改善! 作業者と環境にやさしい ~ 巻くだけトレイ』

ナビエース株式会社 営業本部販売推進部 (包装管理士) 杉本 洋輔 氏

14:40~15:10

【特別講演①】『人工知能を用いた段ボール強度予測』

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 主任 飯田 恭平 氏

15:10~16:20

【特別講演②】『包装に関わる標準化の動向と、改定 JIS Z 0200 のポイントについて』

公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 金子 武弘 氏

<講演概要>

包装に関わる規格には ISO、JIS、ISTA、ASTM 等、多くありますが、JPI が重点的に関わっている ISO と JIS への標準化への取り組みや最新の標準化の動向について、また今年 1 月 20 日に発行された包装貨物試験基準としてなじみの深い、JIS Z 0200「包装貨物一性能試験方法一般通則」の改定ポイントについて紹介します。

※上記の各発表時間は、「質疑・応答」を含んだ表記となります。

### 【注意事項とお願い】

本催しは「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン形式での開催とあわせて、会場にも聴講席を設けた形で実施を予定しております。下記の内容について、事前にご確認ください。

- ①オンライン聴講の場合、ご利用の端末への Zoom アプリのインストールおよびインターネットへの接続が必要です。回線状況等によっては視聴し難い場合があります。接続利用料金等は、参加者の自己負担となります。
- ②会場での聴講は定員 30 名、1 社 2 名までの受付とさせていただきます。定員到達後の申込については、オンラインでの聴講受付とさせていただきます。また、感染症の再流行等の情勢により急遽会場での聴講を中止させていただく場合がありますので、ご承知おきください。なお、講師は会場に来場しない場合があります。
- ③参加申込をいただいた方には、Eメールで参加手順等をご案内いたしますので、事前にご確認ください。
- ④本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得等によるデータ保存行為を固く禁止します。また、講演資料は参加者のみの利用に限定しますので、無断で複写・配付・公開する等の行為を行わないでください。